

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

家庭科 科目 保育基礎

教科：家庭科

科目：保育基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（教育図書）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】

保育の意義や方法について学ぶ。体験的な学習活動を通して、関連する技術を身につけ、保育や子育てに関する知識を総合的に身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めたくうえで課題を見つける。自ら調べ、考察する。互いに意見を発表し学び合うことで思考を深め判断する能力を身につけていく。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的・協同的な学びを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

科目 保育基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 1章 子どもの保育 【知識及び技能】保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自分自身が大切な存在であり、コミュニケーションワークや実習などを取り入れ、楽しみながら学ぶ意欲を引き出す。 【学びに向かう力、人間性等】保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考える。	指導事項： 1. 保育の意義 2. 保育の環境 3. 保育の方法 ○保育園実習の心構えと事前指導 ① ○体験実習(保育園・リトミック) ○上級学校紹介(保育系大学) コミュニケーションワーク 手遊び歌、ワッペン、玩具作り 絵本、紙芝居を読んでみよう！ 教材： ・デジタルツールの利用 ・Teamsの活用 ・作成プリント	【知識・技能】子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考・判断・表現】実習を通して自分の体験からの気づきや感じたこと学んだことを他者に伝え、共に喜び共感する心を養う。保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	○	○	○	6
B 2章 子どもの発達 【知識及び技能】発達には順序性・連続性・方向性・相互性という一定の共通性がある一方で、個人差が大きいことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもが主体的に環境にはたらきかけ、発達していくために、保育者などが応答的にかかわることが大切であることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】座学と並行して体験実習を取り入れることで学習内容の目的理解を深める。	指導事項： 1. 子どもの発達の特性 2. 乳幼児の発育と発達 ○保育実習の心構えと事前指導② ○体験実習(保育園・リトミック) ○実技発表(手遊び歌、ペーパーサート等) ○調べ学習、レポート発表 教材： ・デジタルツールの利用 ・Teamsの活用 ・作成プリント	【知識・技能】子どもの発達の共通性・個別性について理解している。子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 【思考・判断・表現】子どもの心身の発達のために、保育の環境が重要であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】理論や体験実習等を通して乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特徴についてなどを主体的に学ぶことができる。	○	○	○	10
C 3章 子どもの生活 【知識及び技能】基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。 【思考力、判断力、表現力等】保育施設で行われている保育活動に関心を持ち、地域での保育活動にかかわる取り組みについて学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】近年の幼児に関する生活習慣や健康面の課題を知り、家庭や保育施設でどのようなことが求められているかを考察する。	指導事項： 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事・遊び 実習用のワッペン作り・フェルトのおもちゃ作り(制作) 折り紙(制作) 教材： ・デジタルツールの利用 ・Teamsの活用 ・作成プリント	【知識・技能】子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 【思考・判断・表現】子ども食育活動や遊びの大切さについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】保育実習前に子どもたちとの触れあいを想像しながらワッペン作り積極的に取り組むことができる。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

